

白色化繊布を利用することで リンゴ「ふじ」の日焼け果発生を抑制できる

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

1 部門名

果樹－リンゴ－生理障害

2 担当者名

穴澤拓哉、瓜生武司、秋山祐輝、上野美和、佐藤寛人、岡田初彦

3 要旨

近年の高温条件下によりリンゴの日焼け果の発生が増加し、果実の正品率が低下している。リンゴ「ふじ」において、着脱が容易で繰り返し使用可能な白色化繊布（商品名：サンテ）を利用することにより、日焼け発生果実の抑制効果を確認した。

- (1) 白色化繊布は仕上げ摘果の終了した7月上旬に取り付け、着色の開始する9月上中旬に取り外した（図1）。
- (2) 白色化繊布を使用することにより、慣行栽培と比較して日焼け発生果実数は約27～47%抑制された（図2）。
- (3) 果実品質は、慣行栽培と差はなかった（データ省略）。



図1 白色化繊布

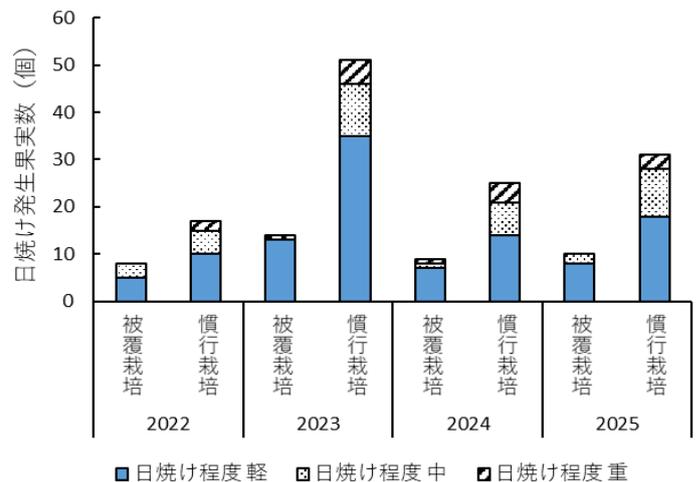


図2 日焼け発生果実数の比較

※各試験区ともに60果調査（2024年のみ果実落果により30果調査）。
※軽：果皮表面が白色、銚色、中：果皮表面がピンク色、
重：果皮表面が茶色

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和4～7年度
- (2) 研究課題名 果樹の生育予測技術及び生育障害対策技術の確立

5 主な参考文献・資料

- (1) 農研機構果樹茶業研究部門リンゴ研究領域, 2018年の成果情報, 着脱容易で耐久性のある果実被覆資材によるリンゴ日焼け軽減技術.